



FIWA通信
インベストライフ®

2025年11月11日

今月のひとこと

【Vol.275】 今月のひとこと

今月の
ひとこと

外資系運用会社で私が学んだこと（1）

FIWA みんなのお金のアドバイザー協会®
会長 岡本和久



私は80年代の後半、バブル時代に日本の証券会社でチーフ・ストラテジストをしていました。その前、9年間に渡るニューヨークでのアナリスト経験があり、日本ではまだ数名しかいなかったCFA（グローバルな最高位のアナリスト資格）も取得していました。アメリカの証券会社からはリクルートのオファーが結構ありました。その給料は億単位のとてもなく高いものでした。

しかし、日本の証券会社の営業姿勢には大きな疑問はあったものの、私自身、仲間を置いて転職するのも忍びないものでした。また、マーケットもかなり成熟しており長期にわたる低迷相場が近いのではないかとも思っていました。その時に果たしてそんな高い報酬をもらってポジションを維持できるのか・・・。そういう思いが強かったのです。日本のマーケットは1989年末をピークに下落が始まりました。新聞のトップで自分の所属する会社の違法行為が伝えられたりしました。徐々に私は本当に自分のプロとしての腕を磨くべき時がきたという思いが強くなってきました。

そんな時にウェルズ・ファーゴ・インベストメント・アドバイザーという年金運用革命の旗頭の会社からオファーがあったのです。この会社ならまだ40代前半の自分にとっても新しい資産運用の学びの機会になるのではないか。アメリカから帰国して6年経って新しい空気を吸いたいという気持が湧いてきました。話を聞こうということで1990年11月にサンフランシスコの本社を訪問し、当時の会長、CEOのフレッド・グラウアー氏と面談をしました。

最初に私が質問したのは「貴社の成功の一番の秘訣は何ですか」というものでした。アナリストとしてたくさんの企業訪問をしていた時の経験が役立ちました。彼の答えはシンプルでした。People, people, people。要するに「人だよ」ということでした。正直、この言葉にはしびれました。

ではあなたが考える良い人材とはどんな人ですか？と更に聞くとこれもシンプルに三つの言葉で答えてくれました。Brightness（聰明で明るい人）, Niceness（誠実でナイスな人）, Fire in the belly（お腹に情熱の火が燃正在する人）でした。

プライバシー・利用規約

その後、20名ぐらいの各部門のヘッドと面談、みんな何を聞いてもよどみのない本当の一流のプロばかりでした。私はすっかり会社の経営と人材のすばらしさに魅了されました。彼らも私を気に入ってくれ入社が決まりました。

グラウア会長からは「当社の給料は平均並だ、成果はボーナスで支払う。ボーナスはゼロから無限大だ。ベース給料は毎年、昇級することはない。また、ボーナスは前年と同じ実績なら0だ。毎年、どれだけ貢献度が増えるかによって決める」と言いました。その時、この本を読むといいよと言って渡されたのが「孫子の兵法（英訳）」でした。

私は「とにかく一生懸命やります」と言ったのですが、彼は言下に「一生懸命やるのは当たり前だ。重要なのはどれだけ貢献できるかだ」と言われたのを覚えています。「そうだよな、そりや当たり前だ」と思ったものです。日本の経営となんと違うことか！よし、日本で年金運用革命を起してやろうという気持がムラムラと湧いてきました。

（以下、次号に続く）



今月号の記事をすべてダウンロード

このページを印刷する

カテゴリー

今月のひとこと

タグ

【Vol.275】2025年11月15日発行

2025年11月11日

FIWAサムライズ勉強会

【Vol.275】FIWAサムライズ勉強会より

個人投資家、消費者のための“ダイバーシティ”が企業価値を高める理由と具体的な取り組み

前田 京子（まえだ きょうこ）氏

ダイバーシティ推進コンサルタント

株式会社NTTデータグループ サステナビリティ推進本部 人権&インクルージョン担当 所属

特定非営利活動法人（NPO法人）フェアトレード・ラベル・ジャパン 代表理事



「あなたが長期で投資したい会社」「安心して応援できる会社」とは、どんな会社でしょうか？ 今日のお話のゴールは、このダイバーシティ、エクイティ & イクルージョン（DEI）を、未来を読む投資視点として考え、財務に出にくい人的資本を投資判断に活かすきっかけになればと思っています。

最初にダイバーシティ（D）とは、多様性です。いろいろな違いをもった人達が共存している状態。そしてエクイティ（E）とは、公平性。公正な機会、資源、力を持てるようにすること。インクルージョン（I）は全ての人達の弱みを理解して能力を最大限に発揮するということで、色々な人たちが働いてもみんな不自由なく働けるような環境にするということです。DEI、DE&IやD&Iと、いろいろな呼び方が世の中にもあります。用途によって使い分けているので、今回はまるっとダイバーシティだと見ていただきたいです。

このエクイティが多分一番分かりづらいと思います。公平とは、結果が同じようになるように、機会や環境、条件の公平性を目指しているような状況です。ダイバーシティとは、見える属性と見えにくい属性があります。目に見えやすい属性とは、性別、国籍、年齢、人種とか。障害は状況によって見えたり見えなかったりします。そして目に見えにくい属性は性格や価値観、宗教等、色々なものがありますが、どちらにしても、傷ついたり、嫌がらずに活躍できるような環境や職場を作ることを目指しています。

ダイバーシティが求められる背景としては、今すごく変化のスピードが早くて、複雑で、予測できない世の中です。多様な経験やスキル、考え方を持った人たちが新たなアイデアやソリューションを生み出す。人は財産だという考え方です。これは、企業が中長期的に伸びていくために大事なことです。お客様はダイバーシティが進んでいる企業かどうかをチェックをしています。また、機関投資家も企業の中長期的な成長を注意して見てています。学生さんは、学校でSDGs等も習っているため、そういった価値観が随分増え、就活の時もそういう目線で企業の数字を見て選ぶ学生さんが増えています。

ここで、世界と日本の動きと背景について触れておきます。世界の流れでは、環境、社会、ガバナンスの非財務情報のESG投資が拡大しています。EUでは、その企業のサステナビリティ報告指令が2023年からも始まっています。私のいる会社のヨーロッパ部門の人たちも、そこで事業やるとこれに合わせて色々な報告をしなければい

プライバシー・利用規約

くなり、てんやわんやになっています。アメリカでも、トランプ政権下ですが、米国証券取引委員会による人的資本開示の義務が、今、上院の方で審議中だという状況です。日本では2023年から有価証券報告書で人的資本情報の記載が必須となりました。

人的資本とは、例えば女性の割合や女性管理職率がどのくらいだと、男性の育児休職の人達がどのくらいいるのか、障害者の活躍がどのくらいなのかというような情報になります。ESG投資が拡大して資本市場の基準が変化してきているといった動きもあります。

ダイバーシティ経営のメリットについて7個の項目があります。1つめが、人材確保です。少子高齢化で労働力不足ということで多様な人材を受け入れる。受け入れることで、優秀な人材を確保できます。2つめがイノベーションの創出です。いろんなアイデアや発想が生まれやすくなったり、イノベーション創出につながったりします。3つめが競争力の強化。色々なスキルを持った人材が活躍されるので顧客ニーズに柔軟に対応できるようになります。4つめがリスク分散。色々な人たちがいることで様々な意見や異論が出て、見落としや判断ミスのリスクが減少する。5つめが企業イメージの向上です。ブランドイメージが高まります。6つめが従業員のエンゲージメントの向上です。色々な人たちが尊重されて活躍できるような職場環境を作っていくので、モチベーションが上がったり、定着率が向上していきます。7つめが1人1人のスキルアップということで、色々な人たちと協働することになるので、マネジメントスキルが上がったり、共感力など個人1人1人の魅力が高まったりします。

「多様性を包括されている人の方が魅力的だよね」という会話は、あちこちで聞きますが、そういった形の1人1人のスキルアップにもつながるということになります。つまり、今まで人はコストだという考え方、削除対象だというように言われることもあったかもしれません、今まさに本当に資本であり、価値を生む資産になっています。人的資本やダイバーシティが企業の重要な価値の厳選になっている状況です。

講演では、アメリカの動きとして世界の一部で吹く「反DEI」のトレンドの背景やDEI推進の状況について、また、ESG投資・ダイバーシティ市場の動きや、日本の状況と課題について説明。最後に職場でのダイバーシティ推進について事例をあげてわかりやすく解説頂きました。

このページを印刷する

カテゴリー

FIWAサムライズ勉強会

タグ

【Vol.275】2025年11月15日発行

2025年11月11日

FIWAサロイン塾 講演

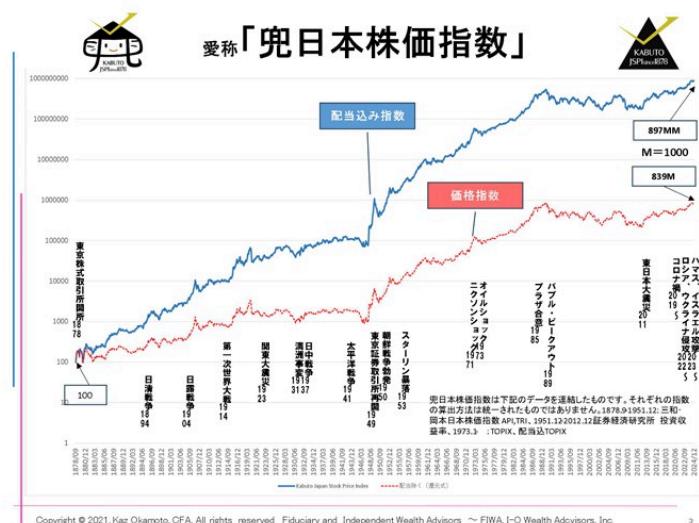
【Vol.275】FIWAサロイン塾講演より（講演）

日本証券全史

特定非営利活動法人 みんなのお金のアドバイザー協会 代表理事 会長
ファイナンシャル・ヒーラー 兼 投資教育家
岡本 和久CFA
レポーター：赤堀 薫里

（以下は9月21日に開催された第五回サロイン塾での岡本の講演の全編（戦後編）部分を要約したものです）

戦後も揺籃期、成長期、成熟期、衰退期で見てみます。揺籃期というのは軍部の政治支配、國家総動員。太平洋戦争が終わったところです。それから成長期に入ってくる。神武景気、岩戸景気、いざなぎ景気のあと、朝鮮特需がありました。成熟期、ジャパンアズナンバーワンでバブルの時代、そして衰退期は新しいパラダイムへの対応の遅れ、長い、長い不況がありました。そしてまた今、新しいサイクルに入りつつあると私は考えています。



ダグラス・マッカーサー将軍が日本にやってきた。そういう中で、島津大蔵大臣は、株価形成が闇相場で行われているけれど、それを阻止して公正な株価の形成を図り、経済の復興と人心の安定を資するために「株式取引所を開いて欲しい」と言います。それに対してGHQは「それはまだ早すぎる。君たちはまだやることいっぱいある」といいます。

う。店頭取引は許さん」と答えます。ただ「相対で売りたい人と買いたい人が集まって、そこで取引をする集団取引については一応黙認しよう」ということを言いました。

その後一連のいろんな動きがありましたが、1949年には株式取引所は開始されました。しかし、株価はダラダラ下がりだします。「やはり株はダメだな」とみんな思っているところで始まったのが朝鮮戦争です。そして朝鮮特需が日本に始まります。朝鮮動乱景気で株価が上がった。1953年3月4日、スターリンが亡くなります。そして暴落する。これはスターリンが戦争推進派だったためスターリンが亡くなると戦争が終わるかもしれないということで売られたのです。戦争が終わったから株価が下がるというのも皮肉なものです。それにしても経済的には朝鮮特需は日本にとってものすごく大きなメリットでした。

終戦後11年経った時に経済白書の冒頭の文章で、『もはや戦後ではない』と書かれました。その年に東京タワーができた。家庭の中に三種の神器がどんどん拡がっていった。まさに「三丁目の夕日」の世界ですよね。朝鮮戦争で株価は上がり。スターリンショックでドカンと下がった。それを経て日本は成長期に入ります。

この頃に利回り革命が起こりました。今まで長期金利の方が必ず配当利回りより高かった。それがこのころ逆転しました。なぜ逆転したのかというと、配当利回りは、これから利益が成長すればだんだん増えていく。長期金利は一定の金利が払われるだけ。だから成長を織り込んだならば長期金利の利回りよりも配当利回りの方が高くていいんだ、というような議論があったわけです。

戦争が終った翌年1946年に2つの会社が生まれます。ソニーとホンダです。これが80年代以降の日本の貿易摩擦やなんかの原因にもなり、とにかく日本の高度成長を牽引していった。終戦直後のボロボロのひどい経済情勢の時にこういう会社が生まれてきた。これはやっぱりすごいことです。1975年というのは、オイルショックでアメリカ経済がボロボロになっていた時です。その年に設立されたのがマイクロソフト、1977年に創業したのがアップルです。マイクロソフトやアップルも、やはりオイルショックでアメリカ経済がボロボロに痛めつけられた時に生まれている企業です。

ソニーやホンダなどが牽引車になって日本の高度成長が始まります。そして投資信託が大人気となり、ブームになりました。『ダウという株を買いたい』と言ってくる人が証券会社に来たという話を昔、よく聞きました。

ついに2024年の2月、日経平均は1989年末の史上最高値を遂に更新しました。39098円。34年ぶりです。もしこの1989年の最高値の時から2024年最高値を更新するところまで毎月1万円ずつ積み立て投資をしていた場合、投資額は412万円貯めしたことになります。毎年この暴落局面でもずっと日経平均のインデックスファンドを買っていようとすると、2024年の高値更新の時の資産残高は1,000万円を超えています。日経平均は元に戻っただけなのに、資産は実に倍以上になっているわけです。すごいことですよね。

武田和平さんは「下がってよし、上がってよしの株価かな」とおっしゃっていました。新しいNISA、資産運用立国という話が出ています。私はこれからは、アドバイザーをいかに養成していくのかがすごく重要なポイントだと思っています。営業とは別のアドバイスをする。それを専業でする人たちが日本にもっと出てこないといけない。

1878年から今日までの兜日本株価指数から色々なことを学べます。まず、第一に欲張らない『知足の投資』こそ成功の秘訣。第二にとにかく分散する。第三に株価のギザギザで儲けるのではなくてトレンドで儲ける。第四に時間を味方に付ける。これは複利の効果です。そして第五に「上げてよし下がってよし」の積立投資。さらに第六に株価指数の背後にある歴史を学ぶ。

世の中は常に変化する。過去をリファレンスして今を見るといろいろなことが見えてくる。海面の波のように日々の株価の変動は大きい。でも、海底の潮流は力強く、安定した長期トレンドをもっています。歴史を学ぶことは今を学ぶことだといいます。長い歴史の表面で揺れ動く株価に目を奪われるのではなく、長期的な大きな流れをしつ

かり理解するためにも、特に株式市場が大幅安をするときなど。ぜひ、兜日本株価指数をじっくりと眺めてみてください。

講演の動画（戦前編と戦後編の合体動画）は以下のサイトからご覧いただけます。

9月21日（日）第5回FIWAサロイン塾



（文責FIWA®）

このページを印刷する

カテゴリー

FIWAサロイン塾 講演

タグ

【Vol.275】2025年11月15日発行

 2025年11月11日

寄稿

【Vol.275】エクスパート・オピニオン

Expert's View :

子供たちにお金のことを教える ハッピー・マネー教室の20年

 FIWA代表理事 会長
 岡本 和久CFA


(私はハッピー・マネー教室という子供向けの金銭教育を20年以上やっています。まだ大人向けにもお金や投資の話などほとんどされていないころでした。私自身、「何をどう教えるか」ということを考え散々、試行錯誤をしていました。

たまたまアメリカ人の友人のご縁であるアメリカの金銭教育用の玩具の紹介を受け、その商品の輸入販売を始めました。それが「ピギーちゃん」というぶたさんの形をした貯金箱」です。これで私の子供向けの金銭教育は大きく飛躍することができたのです。

ピギーちゃん。これは貯金箱ですが、単なる貯金箱ではなく、貯める、使う、譲る、増やすという穴が背中に開いて、胴体も4つの部屋に分かれている。胴体のそれぞれの部屋がそれぞれの足につながっていて、足からお金が取り出せるようになっています。こういうコンセプトを豚さんの貯金箱を使って子供たちが自然に学べるような教育玩具なんです。



この豚さん、アメリカのマネー・サビー・ジェネレーションという会社が開発したものです。2012年の7月にシカゴの彼らの会社を訪問して数日間か、彼らの仕事を見せてもらいました。そして販売権を得て日本でそれ以来、販売をしてきました。現在までのところ、日本で二万個のピギーちゃんを販売しました。

この豚さんですが、愛称は「ピギーちゃん」です。「ハッピー・マネー」も商標登録して日本では「ハッピー・マネーのピギーちゃん」として販売しています。

ピギーちゃんの背中には貯める (Save) 、使う (Spend) 、ゆづる (Donate) 、ふやす (Invest) という穴が開いています。胴体も四つの部屋に分かれそれぞれの部屋にたまつたお金はそれぞれの脚から取り出せるようになっています。

ピギーちゃんがマネー教育に大きな効果があるのは、この貯金箱を使うことで子供たちの意識の時間軸と空間軸が広がることです。「使う」でうれしいのは今の自分です。「貯める」は本当は今、使いたいお金を使わずに手て、そして少し先に大きく貯まつたお金で本当に欲しいものを買う。我慢のご褒美が大きな喜びになるわけ

プライバシー・利用規約

「譲る」というのは寄付やボランティア活動などです。今、困っている人を助けるために自分のお金や時間、労働を譲るのです。みんなを笑顔にすると自分も笑顔になる。笑顔というご褒美を得られる。

「増やす」について少し詳しく説明します。今、お金が必要な人や会社があるとします。その人や会社に自分が持っているお金を使わせてあげる。その人は使わせてもらっているお金を、ビジネスの種にして育てる。植物を育てるように、土にまいて肥料をやったり、陽に当てたり、水をやったりして、長い時間をかけてビジネスを大きく育てます。

例えばビジネスをリンゴの木に例えてみましょう。何年も経ってリンゴの木は大きく育ちたくさんのリンゴがなる。そして、そのリンゴを販売して収益を得る。その収益の一部を最初にお金を出してくれた人に毎年、支払う。お金を出してくれた人を投資家、もらえるお金を配当金といいます。

お金を出した時はリンゴの木もまだ小さな種だったのが徐々に大きな木になりたくさんのリンゴがなるようになります。だからリンゴの木の価値も増加しています。大きな木から根のついた枝分かれしたものを「株」といいますよね。まさにこれが「株」なんです。

その子が大きくなつて海外留学をするためにまとまったお金が必要になったとします。その場合にはこの子は自分がお金を出して、いまは大きくなつたリンゴの木の持ち分を他の人に売ることができるわけです。その持ち分を表す「株」を持っていると、買った人はその元々の大きな木の一部を持っているわけですから、そこに実った果実を自分のものにすることができる。自分で収益を得るえることができる。

例えば留学資金のためにお金が必要ならその株を売ればいい。ただ、問題はその株を買ってくれる人を探さなければならない。そのためにあるのが証券市場というものです。世の中にその株を買いたい人がいる。売りたい人もいる。それぞれが注文を証券会社に出します。

証券会社に出された注文が株式市場に集められ売りと買いがマッチングするんです。売りたい人と買いたい人がいて値段が一致すれば取引が成立する。買いたい人が売りたい人より多ければ値段が上がる。逆なら下がる。これを可能にする場所が株式市場です。こういう仕組みになっているわけです。結局、最初に苗だった企業が大きく成長したら高く売れ、多くの利益を得ることができるということになるわけです。

株式市場では「株」を売ったり買ったりで儲かったり損したりという話が多いのですが本当の意味は今日お話ししたようなものです。つまり今、お金が必要な会社に使わせてあげる。「資」金を「投」げる、ずっと将来に向けて投げる。これが「投資」です。その会社は世の中のみんなが喜ぶような仕事をして株の価値を高くしてくれる。そして最初に買った人はそれを株式市場で売る。

だから大切なことは最初にどこに資金を投げるかということです。本当に長期にわたって世の中のためになる仕事をしている会社の株を買うのが良いのかというのはこういう理由によるものです。

[このページを印刷する](#)

カテゴリー

寄稿

タグ

【Vol.275】2025年11月15日発行



FIWA通信
インベストライフ®

2025年11月11日

FIWA仲間たより

【Vol.275】新会員紹介 浦上 槟一郎氏

浦上 槟一郎 氏

【プロフィール】

- DIY(Do It Yourself)資産育成コーチ／資運塾®塾長
- 元世界銀行の財務担当官（クオンツ＆リスク管理担当）
- 東京・ロンドン・ニューヨークの大手金融機関にて15年勤務
- 金融資格：
 - ・CFA（米国CFA協会 認定証券アナリスト）
 - ・CAIA（米国CAIA協会 認定オルタナティブ投資アナリスト）
 - ・CMA（日本証券アナリスト協会 認定アナリスト）
- 英語力：
 - ・英検1級
 - ・IELTS 7.0
 - ・TOEIC 935
- 国立大学／大学院 工学部 数理科学専攻 卒
- 2児の父親



浦上 槟一郎 氏

【略歴】

DIY資産育成コーチ 兼 資運塾®塾長。

東京・NY・ロンドンにおけるグローバルな金融市場での豊富な経験を活かし、様々な運用手法を使ってリスク対比リターンを最大化する資産運用を得意にする。

大学生まではお金に苦労することなく過ごすが、突如父が他界。

悲しみに暮れる暇もなく生活に四苦八苦する中でお金の大切さを知り、専攻の数理科学に加えてファイナンス理論も学ぶ。

就職後、自己資金でFXや先物などのリスクの高い金融商品に投資して大きな利益を上げるも、程なくして世界金融危機が起き、個人口座に損失を抱えると同時に勤務先が経営難に陥り、あっという間に生活苦に陥る。

その後大手金融機関に転職し、クオンツ（高度な金融モデルを駆使して複雑な金融商品の公正価値評価や定量分析を行う職業）としてキャリアを積みながらNYやロンドンへの海外赴任も経験した後、世界銀行へ財務担当官として海外転職を果たす。

世界銀行は米ワシントンDCに本部を構え、世界189か国が加入、出資している国際機関であり、国連と双璧

世界最大の国際金融機関。日本も200億ドル（約3兆円、2024/10/9時点）ほど出資しており、出資額は米国に次いで世界第2位となっている。それもあってか、多種多様な国籍が集まる世銀内においても日本人スタッフのプレゼンスは高く、日本国および先人達への感謝の念と誇りのようなものが醸成される。

リーマンショックでの反省を踏まえ、自己資金の運用も堅実路線に転換。リスクを最小化した上でリターンを最大化する運用方針を貫き、大きな損失を避けながら小さなりターンを積み上げることに注力。海外生活8年目になる頃には自己資産を当初の3～4倍にまで増やすことに成功した。

仕事やプライベートに忙しく過ごす中、必要に駆られて金融系／英語系の資格も取得。

特にCFA（米国証券アナリスト）は、米国を始めとしたグローバルな資産運用業界において最も有名かつ難関な資格であるため、今後のキャリアには必要不可欠と考えて取得。

レベル1、レベル2、レベル3の3段階の試験に合格する必要があり、当然ながら全て英語。特にレベル3は記述のため高い英語力も必要。ネイティブのアメリカ人でも1レベル合格するのに約360時間、3レベルで計1,080時間の勉強を必要とする難関資格であり、ネイティブでなければかなりの苦戦を強いられる代物であった。

オルタナティブ投資についての知識が不足していると感じたため、CAIA（米国オルタナティブ投資アナリスト）も取得。こちらはレベル1、レベル2の2段階だが全て英語なのは同じ。ネイティブでも各レベル約200時間、合計400時間が必要な資格であった。

英米在住8年になる頃に、それまで現地で培った英語力を試したいと思い、当時住んでいた英国で最も有名な英語資格、IELTS（国際英語検定）を受験し、バンドスコア7.0を取得。こちらは言語の国際基準CEFRのC1レベル（熟達した言語使用者）に該当し、英語力に関しては英米のほとんどの大学の入学基準を満たすことになる。

海外の金融機関で働く中で、世界の金融プロフェッショナルはもちろん、現地の一般人ですら高い運用知識・スキルを持つことに愕然とし、「資産運用の知識と経験が日本人には圧倒的に不足している」と痛感。帰国して「資運塾®」を開校するに至る。

「魚を与えるのではなく、魚の釣り方を教えよ」という老子の教えに基づき、お金を一切預からないDIY（Do It Yourself）方式の資産「育成」コーチとして、さまざまなバックグラウンドのクライアントをご支援。

1人でも多くの人が自らの資産を運用しながら資産運用を学んでほしい。

その結果として増えた資産で豊かな人生を送ってほしい。

そんな想いを叶えるべく、日々奔走している。

【資運塾® 紹介】

グローバル標準の「王道」資産運用を経験豊富なプロからじっくり学べるスクール。

お金を一切預からないDIY（Do It Yourself）スタイルで、金融商品の売り込み等は一切ありません。

ニュートラルな立場から理論的に最も良い運用方法を学べるので、運用初心者の方に特にお薦めです。

主な受講コース：

- DIY資産育成コース【コア資産構築編】：投資信託やAI運用を使ったコア資産を構築し、豊かな老後生活を送るための資産を育成します。主に初心者の方向け
- DIY資産育成コース【コア・サテライト資産完成編】：上記コア資産に加え、よりアグレッシブな運用でリターンを最大化するサテライト資産を構築し、アーリー・（セミ・）リタイヤを目指します。主に中上級者向け
- DIY資産育成コース【従業員・家族編】：グローバル標準の資産運用を学ぶことで、金融リテラシーを高め、経済的不安を減らし、働きやすさや生活の満足度を向上させます。特にDCやiDeCoを有効活用できていない従

業員や家族向け。

公式LINEアカウント：<https://s.lmes.jp/landing-qr/2007285495-nNlpGaWM?uLand=O3g2nu>

note：https://note.com/like_nerine4305

ホームページ：<https://globalamlabs.com/>

Facebook：<https://www.facebook.com/shinichiro.uragami>

このページを印刷する

カテゴリー FIWA仲間たより

タグ

【Vol.275】2025年11月15日発行



FIWA通信
インベストライフ®

2025年11月11日

お役立ち情報

【Vol.275】お役立ち情報

SNS、PODCAST等

ホームページ、メルマガ、ブログなど、お役立ち情報

2005年から20年続けた「FIWAマンスリー・セミナー」を昨年12月で終止符を打ち、本年より完全無料・オンライン形式の「FIWAサロイン塾」を開始しました。奇数月の第三日曜日の開催です。これまでの5回の開催で約2000名（推定）の方にご参加いただいています。本年、最終回のインベストライフ本号が公開される11月16日の開催です。「もう、予定は入ってるよ」とおっしゃる方、ご安心ください。数日遅れでネットで公開します。

さて来年の予定ですが本年と同じように奇数月の第三日曜日の午後に開催します。人生を通じての資産運用はいつも言うように歯磨きと同じで単純なことを長く続けて初めて結果を得られるものです。そのためには実践している資産運用が理論的に正しく実証的に効果のあるものでなければなりません。

そこで来年は資産運用の思想の発展に大きな貢献をした人々のエピソードを紹介をしていきたいと思っています。難しい理論のお話はしません。本当に有益な投資理論というものは専門家ではない生活者が「なんだ、そういうことか」とわかつていただけるものです。「なるほど！」と膝を打っていただけるものです。一応、現在の予定を以下にご紹介しておきます。本年に続き来年もぜひ気楽にご参加ください。

（11月16日開催サロイン塾の予定およびお申込みは以下まで。後日、動画でもご覧いただけます）



岡本 和久

2025年11月16日(日)開催【第6回 FIWA® サロイン塾】

1. 人生とお金の関係を考えよう
2. しあわせ持ちへのロードマップ アドバイザーという伴走者





2026年開催予定



FIWAサロイン塾

金融商品の販売を一切行わないNPO法人、みんなのお金のアドバイザー協会が実施している社会貢献事業です。参加はオンラインのみ、参加費無料、毎回、質疑応答の時間があります。
お申込みサイト：<https://business.form-mailer.jp/fms/d83c3047293591>
お申込みをいただいた方に当日の視聴サイトのURLをお送りします

講師：岡本和久CFA 1946年生（78歳）証券人生54年 内訳～国際金融部門4年：証券アナリスト・ストラテジスト15年（ニューヨーク9年、東京6年）：外資系年金運用会社15年：投資教育21年 今日に至る

第一回 1月18日	① 株価の動きを考える～リスクとリターンとは何か ② 証券の価値の源泉～グレアム＆ウェーラムズ	
第二回 3月15日	① リスク管理のための分散効果～マーコビッツ ② グローバル投資の先駆者～テンプルトン	
第三回 5月17日	① 最も効率的な分散は何か～トービン ② 個別銘柄分析のフォーミュラ～バークマーチ	
第四回 7月19日	① 資本資産評価モデル・CAPM革命～シャープ ② インデックス運用～エリス、ポーグル	
第五回 9月20日	① 長期的運用成果の本当の決め手～プリンソン＆フード＆ピーバウアー、ダン＆シーセン ② 年金運用革命～グラウアー	
第六回 11月15日	① 運用理論進化の変遷：進化と実用化 ② 和風資産運用と老荘思想に学ぶ長期投資～	

Copyright ©2025, Kazuhisa Okamoto, CFA, All rights reserved, Fiduciary and Independent Wealth Advisors (FIWA), NPO, I-O Wealth Advisors, Inc.

1



FIWA正会員 小谷晴美さんの生活に密着した情報紹介

株価指数連動の積立投資シミュレーション・ソフト

FIWA
つみたてインディくん

長期 分散投資 あなたの資産形成をサポートする

提供: みんなのお金のアドバイザー協会FIWA
開発: (株)竹中R&I 代表取締役竹中正治

無料版 & 有料版

FIWAと竹中教授が開発・運営する積立て投資の様々なシミュレーションができます

やべえ(先生)のマネー話 Since 2016

元トレーダー × 現金融教育家 やすべえ

証券アナリストジャーナルを読んで

証券アナリストジャーナルを読んで

毎月の「証券アナリストジャーナル」という業界誌を読んだ感想などを書いています。動画版もあります！

証券アナリストジャーナルの記事の要約を紹介してくださっています



CFA協会ブログ

グローバル最先端のアナリスト (CFA) が執筆している興味深い記事の日本語訳です

FIWA
株式会社活動法人
みんなのお金の
アドバイザー協会

長期投資仲間 集いの場
クラブ・インベストライフ
on Facebook

・個別商品の販売・推奨、あるいはそれに類する投稿は禁止いたします
・投稿はあくまで個人としての発言としてください
・企業広告およびそれに類する投稿は一切認めません

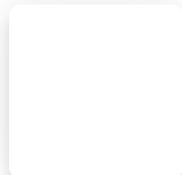
FIWA仲間通信「インベストライフ」はこちら ⇒ <https://fiwa.or.jp/investlife/>
インベストライフの沿革、理念、方針についてはこちら ⇒ <https://i-owa.com/letterzine/>

編集

1973年創刊の長期投資仲間通信 現在、FIWAのWebベースの会報誌。一切、金融商品販売から独立した記事を掲載しています。

ファイナンシャルヒーラーの雑談トーク

<https://open.spotify.com/show/0PbvVeZmB0ycyZnPOR98ay>



80回目の終戦記念日に寄せて
8月16日・ファイナンシャルヒーラーの雑談トーク

Spotifyで保存

10:13

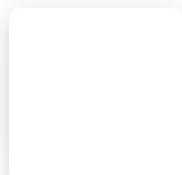
マネーマネーマネー for you – FIWA～みんなのお金のアドバイザー協会～



マネーマネーマネー for you

FIWA（みんなのお金のアドバイザー協会 <https://fiwa.or.jp/>）に所属するコヤ（小屋）&キャサリン（竹内）&ナンシー（西岡）の3人の子育て中パパママがお届けする「お金」と「子育て」と「人生」に関するよもやま話をお届けするラジオ

<https://fiwa.or.jp/podcast/>



お金の意味を考える—ビブリオバトル×クラファンで育つ子どもの力
11月7日・マネーマネーマネー for you

Spotifyで保存

17:28

[このページを印刷する](#)

カテゴリー

お役立ち情報

タグ

【Vol.275】2025年11月15日発行



2015 年 バフェットの株主総会に参加して

対談:尾藤 峰男氏、岡本 和久

尾藤 峰男氏

1978 年、早稲田大学法学部卒業。日興証券に 1999 年 3 月まで 21 年在籍、投資アドバイス・債券発行・事業法人営業など主要証券業務に携わり、英国、カナダ、オーストラリア(現地法人社長)の 3 力国に勤務。2000 年 7 月、びとうファイナンシャルサービス株式会社設立、現在に至る。金融機関から完全独立の FP・資産運用アドバイザーとして、お客様利益を最優先に、個人の金融資産や退職金の運用助言・ライフプランニングサービスを提供している。商工会議所での講演、日本経済新聞、日経マネー、東洋経済などへ執筆多数。テレビ東京、日経 CNBC にも出演多数。著書に「いまこそ始めよう 外国株投資入門」(日本経済新聞出版社、平成 22 年刊)

現在日本 CFA 協会ウェルス・マネジメント・フォーラム幹事。東京商工会議所会員。投資助言・代理業登録 関東財務局長(金商)第 905 号

岡本 | 尾藤さんは二年連続でウォーレン・バフェットさん会社、バークシャー・ハサウェイの株主総会に出席されましたね。今日はその感想をお聞きしたいのですが、その前にバークシャー・ハサウェイという会社について少し説明をしてください。

尾藤 | はい。バークシャー・ハサウェイという会社は米国の有名な投資家、ウォーレン・バフェットが会長兼 CEO を務める世界最大の持ち株会社です。本社はアメリカ・ネブラスカ州のオマハにあります。アメリカのほぼど





長期投資仲間通信「インベストライフ」

真ん中ですね。この会社の株主になるということは、この会社が所有している企業を間接的に保有していることとなり、その意味では株式会社の形態をした投資ファンドでもあります。私は株主としてその株主総会に出席しました。

岡本 | それで巴菲特さんを間近に見てどうでした？オーラは（笑）？

尾藤 | まあ、普通のおじいさんなのですが（笑）、とにかく周りの人の見る目がものすごいですよね。今回はバークシャー・ハサウェイを1964年に買収をして50周年ということもあり、4万人を超える株主とその家族が株主総会に参加しました。

岡本 | 株主以外の家族も参加できる？

尾藤 | はい、株主に対して4枚の参加証がもらえますので小学生まで家族で参加している人も多いのです。参加人数はこれまでの最高です。最初の株主総会の参加者は12名で町のカフェテリアで行われたそうです。二人のカップルを除いて後はすべて家族と知人（笑）だったと言っていました。

株主総会は一日です。投資先企業が色々なイベントを企画したりブースを出して商品を販売したりしています。前日、ピクニックがあったり、カクテル・パーティがあったり。商品販売の売り上げも結構大きいだろうと思います。GEICOの自動車保険まで販売していました。売り上げは企業の収益ですが、結局、それは株主であるバークシャー・ハサウェイの収益にもなる（笑）。また、5キロ・ランなど、色々な催しがありました。

岡本 | 尾藤さんのメルマガでバークシャー・ハサウェイの株主総会に出席して「つくづく思うこと」というのを書かれていましたね。ちょっと紹介してください。

尾藤 | ああ、あれですね。五つのポイントを書きました。まず、巴菲特の言葉から学ぶことが大変多い、巴菲特の学び続ける姿勢に励まされる、巴菲特が言っていること、行っていることは誰でもできる、私欲がなく、周りをみんな幸せにするように行動する、ですね。印象が強いのは参加者の表情がみなやすらぎ感に満ちていることです。ふくよかな顔つきなんですね。まあ、そういう意味では巴菲特教的なところはあるのかも知れません。





長期投資仲間通信「インベストライフ」

岡本 | 株主は富裕層が多いのでしょうか？

尾藤 | それははっきりとはわかりません。ただ、わざわざ飛行機でオマハまで来る人が大部分ですから、それを考えると中流以上だろうとは思います。厳密にはわかりませんが…。巴菲特自身はあんまり区別をしていないように思います。1990年代中ごろまではA株と言って一株22万ドルだけでしたが、いまは一株145ドルぐらいで買えるB株があります。ですから普通の人でも買いややすい。特徴としては長期投資であるということです。ですから株主の入れ替わりは非常に少ない。

岡本 | よく言われるウォール街的な強欲さは投資家サイドにもあまりないということですね。

尾藤 | ウォール街はサヤ取りを中心としたトレーディングですね。デリバティバスを使ったりして。それとはかなり違うと思います。こちらの株主総会は全然、それとは雰囲気が違いました。巴菲特さんが50年来のパートナー、マンガーと二人が登場したときは会場全体が「ワーー」という感じで盛り上りました、

岡本 | そして、式次第は？

尾藤 | 会場は7:00に開きました。8:30まではエキシビション・ホールでの傘下企業の展示を見たり買い物をしたりします。色々とありますよ。巴菲特とマンガーのキャラクター・グッズ、ハインツの商品、これ50%OFFの2ドルでした。50周年記念のでっかいパンツ、「次のウォーレン・巴菲特」と書いてあるTシャツ、シーズ・キャンデーなどたくさん商品が展示即売されていました。

岡本 | 前日の5キロ・ランはもちろん尾藤さんも走った。

尾藤 | もちろんです。

岡本 | バフェットは？

尾藤 | バフェットは人形が走っていました。



岡本 | この「ノリ」がいいですよね。当然、株主総会でメインの話とも関連すると思いますが、尾藤さんから見てバフェットの投資法の中核は何だと思いますか？



長期投資仲間通信「インベストライフ」

尾藤 | やはり、「手堅い投資」ということではないでしょうか。1%であっても不用心があつてはいけない。100%用心していなければいけないということです。バークシャー・ハサウェイの株主のことを最も考える。巴菲特にとって最も大切なことは、バークシャー・ハサウェイがすくすくと育っていることだといっていました。なぜなら株主が一番大切だからだ、それゆえ、100%用心しなければならないということなのです。とにかく株主のことをものすごく考えている。企業経営も含めてすべてはそこからスタートしています。



岡本 | そして、1%の不用心を消すためにはどんなことをしているのですか？

尾藤 | 勉強し続けることです。84歳でも勉強を続けている。まだ、知らないことがある。1日の仕事の時間の80%を読むことに使う。そして、20%を考えることに使う。要するに知らないことをなくすように最大限の努力をしている。いまでも好奇心をもって勉強している。



岡本 | そのような努力を行うのはまさに株主のためということですね。これは本当に見習うべきことですね。



長期投資仲間通信「インベストライフ」

尾藤 | いまでも1日に500ページ読むと言っていました。部下のファンドマネジャーにも1日500ページの読書を課しているそうです。アニュアルレポートや新聞などは当然ですが、古典的名著、アダム・スミスやケインズ、リカードなどです。特にアダム・スミスの国富論を読むことは株主総会でも言っていました。あと、岡本さんが監修して日本で出版した「投資家のヨットはどこにある?」も必読書としてあげていました。

岡本 | あれは不変の真理を描いた名著ですね。2011年に私が監修をさせてもらってパンローリング社から出版されました。インベストライフの読者にもぜひ、読んでもらいたい本です。

尾藤 | バフェットも「ぜひ、読め」と言っていました(笑)。

岡本 | 投資対象の選び方については何か言っていましたか?

尾藤 | はい、「理解できる銘柄を買え」ということです。「自分が」理解できることが重要です。ですからハイテク・バブルなどがあったときもバフェットは「よくわからない」ということで見向きもしなかった。



岡本 | その点は個人投資家にもすごく重要なことですよね。自分が理解できるというときの、「自分が」という点が重要。派生証券などを組み込んだ難しい仕組みの投資対象が時々あります、分からなければ買わなくても良い。買うべきではない。他人がわかって勧めてくれても、結果は自分のところに来るのですから。投資信託でも個別銘柄でもね。

尾藤 | ユーフォリアに惑わされることですよね。ものすごく簡単で当たり前のことですけれどね。重要なことです。

岡本 | 多くの場合、予測は「昨日、晴れていたから今日も晴れるでしょう」という天気予報が信頼できないのと一緒にですよ。「昨日、上がっていたんだから今日もきっと上がりますよ。みんな買ってますから」という話ですよね(笑)。バフェット自身、自分のアプローチの85%はベンジャミン・グレアム、15%はフィリップ・フィッシャーから成り立っているということを言っていますが、グレアム的アプローチについては何か言っていましたか?

尾藤 | 証券アナリストの父、グレアムですね。彼の「賢明なる投資家」はまさにバフェットにとって



長期投資仲間通信「インベストライフ」

座右の書です。「ベンジャミン・グレアムは私の師である」と明言しています。ただ、少し違います。グレアムの割安というのは「とにかく割安なものを探す」のが基本です。ですから、道に落ちているあと一口吸えるタバコでも価格が妥当なら買う価値があるということです。巴菲特も割安株投資ですけれど、巴菲特はグレアムの考え方を進化させています。その好例がシーズ・キャンデーです。パートナーのマンガーに 3000 万ドルでの投資を勧められたのですが、最初は納得できなかった。結局、値段を 2500 万ドルに下げて買い付けた。割安株であっても買い付け価格を値引きした。それが巴菲特の真骨頂です。いまとなつては何 10 億ドルの利益が出ている。

岡本 | 「もう一声」と負けさせるところがすごいですね。

尾藤 | そのときに巴菲特が注目したのがブランド価値ということです。これが大きな決断のきっかけだったのです。このような価値はグレアム的アプローチには入ってこないかも知れない。この視点からコカ・コーラ、ジレット、アメックスなど高ブランド価値の企業が選ばれています。ブランド価値の高い企業はモート(堀)が深いと言っています。要するに競争相手が容易に入ることができない。それによって一時的なショックなども乗り越えることができる。価格支配力も強いのでインフレにも対抗できる。単に株価が割安であるだけでなく、そのようなエコノミック・モートの深い企業が良いという発想に進化していったのです。



岡本 | 例えば今後の収益予想などについてはどの程度、重視しているのでしょうか。

尾藤 | まあ、それは当然のこととして考慮の対象にはなっていると思います。

岡本 | そうでしょうね。将来の収益を支える基盤としてエコノミック・モートなどを重視するのでしょうか。そのあたりがグレアムだけでなく、15%はフィッシャーと明言している所以でしょう。グレアムと言えば、私の証券アナリストの最初の師はジェームズ・ローゼンワルドという人で彼はグレアムの最初の弟子だったというのが自慢でした。その意味では私はグレアムの孫弟子(笑)。私がいた証券会社のニューヨーク店でアナリストとして活躍していました。1975 年、私がニューヨークに転勤になったところ、ちょうど手頃な若造が来たというので(笑)資料を渡され膨大な計算をしろと言われました。もちろんパソコンなんてない時代。電卓です。ローゼンワルド氏は計算尺をいつも胸ポケットに入れていて計算尺で計算してい



長期投資仲間通信「インベストライフ」

ましたつけ。

尾藤 | 面白い話ですね。

岡本 | 当時、彼は損保株をしきりに勧めていました。

中小損保が中心でしたが株価が200～300円なのに対してポートフォリオの価値が1000円近くあるという。私がマーケットで人気の成長株などを調べているといつも「どうしてお前はそんなゴミ(ガーベッジ)のような銘柄ばかり調べるのだ。そんなもんは捨ててしまい、私の銘柄をしっかり分析しろ」などと怒られたものでしたね(笑)。そして、最後はいつも「道端に金貨が落ちていたとしよう。最初に通り過ぎる人は気づかないかも知れない。二人目も通り過ぎるかも知れない。しかし、本当に価値のあるものだったらいつか誰かが気づいてそれを拾うだろう。それがバリュー株投資だ」と言っていました。懐かしい想い出です。



尾藤 | 岡本さんの原点ですね。

岡本 | まあ、わかりませんが若い頃、証券分析について大きな影響を与えてくれた人であることは間違いないですね。ですから、いまだにグレアム的な考え方は私の中にあるように思います。ところで尾藤さんがお客に話すときにバフェットの考え方で何か参考になっていることがありますか？

尾藤 | やはり、一番大事なことは長期の視点で見るということです。ということはちょっと株価が上がったから売るとか、ちょっと下がったからといって心配したりすることは必要ないということです。長い目で見るということです。そして10年、20年、持つに足るような銘柄を買うのです。持ち続けられる会社を買う。市場全体が下がれば一時的には株価も下がるでしょう。しかし、長期的に価値が増加し、株価が盛り返してくることのできる銘柄を買うということです。ということで安心して観ていてくださいという点を強調しますね。

岡本 | リーマンショックのようなことがあっても数年で回復する。それは短期投資家から見れば気が遠くなるほど長期でも長期投資家から見れば長い旅の途中の一つの風景でしかない。



長期投資仲間通信「インベストライフ」

尾藤 | そう、そう。その通りです。そうして持ちこたえることができるようにしてあげるのが私のアドバイザーとしての仕事です。

岡本 | 腕の見せ所ですね。尾藤さんというとグローバル投資を重視するので有名ですが。

尾藤 | 私はシームレスで外も内も見ます。別に株式市場は日本だけにあるわけではありません。日本だけを見るよりも世界を見た方がずっとたくさんの良い投資機会があります。

岡本 | その場合、銘柄選択の基準は？

尾藤 | それは株主重視ということです。その点では海外に非常に優れた企業がたくさんありますね。例えば VISA、ムーディーズ、ウェルズ・ファーゴ、コストコなど成長力の点から魅力があります。それから経営という点からはエクソンとか、ジョンソン・エンド・ジョンソンとか。

岡本 | 上場投資信託(ETF)と個別銘柄の使い分けはどうしていますか。

尾藤 | ETF は結構、使っています。これは分散投資目的です。特に欧州とか新興国などですね。アメリカは個別で結構、大所を持っているのでかなり市場全体のエクスポージャーもそれらを通じてとっています。ただ、小型株となると手薄なのでそのような ETF を買うというアプローチです。そして、大型株と小型株、先進国と新興国、国内株と海外株というような配分比率を見て全体を決めています。

岡本 | 日本株はどう見ているのですか。

尾藤 | 以前は「こりやあ、だめだ」と思っていましたが(笑)、最近は少し良くなってきてているという感じを持ちます。株価の動きということではなく、ROE 重視、株主還元、ガバナンスの見直しなど、株主を意識した動きが出てきている点を評価しています。問題は、キャピタル・アロケーションとか資本コストなど理解できているのかということです。キャッシュフローがマイナスでも売り上げが伸びていればよいとか、自己資本比率が低下すれば増資をすればよいという





長期投資仲間通信「インベストライフ」

ような本質を理解していない経営者も多いということです。ですから、やらされているからやっているのではなく、本質を理解して経営体質を強化していく企業が増えることを期待したいですね。

岡本 | 本当ですね。アベノミクスで株価が上がっているのは企業の外的要因によるところが大きい。本当のブル・マーケットは個別企業の経営体質の強化、改善が進むことによって実現するものです。そこに期待したいですね。今日は幅広いお話をありがとうございました。

尾藤さんのメモより

巴菲特の株主総会 質問・回答編

質問: 10年後まで利益が予測できると信じられる企業の特徴を教えてほしい

マンガー: 一律に決められるフォーミュラはない。だから我々は学び続ける。バーカーは過去の案件から学んでいる。

巴菲特: 大事なことはその会社の人間とパートナー関係を組めるかを見極めることだ。。

質問: 巴菲特死後のバーカーを投資家はどう判断したらしいか

巴菲特: 我々がいなくなつたあとバーカー。のカルチャーが生き続けているのは、個人の力ではないことが明らかになるだろう。

質問: 株主でない人の生活により大きな影響を及ぼすために企業は何をすべきか

巴菲特: もっと慈善活動を増やすべきということには同意する。しかし、それは個人レベルの話で企業レベルではない。会社の資金から慈善事業のために小切手を書くのは私の仕事ではない。会社のお金は私のものではなく、株主のものだ。

質問: 現在の株式時価総額や企業利益の対 GNP 比は歴史的に高いと見た方がいいか

巴菲特: 高いと言えるかも知れないが、金利が歴史的に見て非常に低いことも考慮したほうがいいだろう。アメリカのビジネスは驚くほど繁栄した。マクロ要因で投資を見送ったことは今までない。

質問: 新しい産業を学ぶには

巴菲特: 我々はこれから10年、どういふビジネスが利益をあげるか、わかる会社を探すだけだ。我々はすばらしい結果をもたらすチャンスを探求するのではなく、良い結果を得られると確信できるものに目を向けていた。



長期投資仲間通信「インベストライフ」

マンガー：我々は幸運のいくらかを好奇心を持つことで得てきた。すばらしい人々を見分けるバックグラウンドがあったこともよかったです。

質問：若かりし頃の投資成功のもっとも大きな要因は何だったか

バフェット：ベンジャミン・グレアムという偉大な先生がいたこと。例外すぎるほどの集中、本来あるべき平常心、気持ちの安定性だ。

質問：ほとんどの遺産を寄付する誓約をしたのはなぜか

バフェット：遺産の99%超を慈善事業に寄付する誓約をした。大切なことは、そのお金がどこでもつとも活かされるかということだ。これらのお金は私にはいらないお金で、他の人には大変、価値のあるお金だ。

質問：最も大切なことは何で、それはなぜか

バフェット：私にとって最も大切なことは、バークシャーが順調にいくことだ。バークシャーにかかる人は100万人以上いる。会社がうまくやれなかつたらしあわせではない。

マンガー：我々は人さまのお金を失うことが大嫌いだ。

（一部、抜粋、字句の修正を若干しております）

＜モデルポートフォリオ:2025年10月末の運用状況＞

単位：%

		トータルリターン・%				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率・%			
		1ヶ月	1年	5年 (年率)	10年 (年率)		1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月 ～310万円
4資産型	積極型	5.48	20.29	18.22	10.81	13.26	15.93	55.01	106.91	287.54
	成長型	4.28	12.92	11.89	7.33	8.93	10.82	34.07	63.03	169.12
	安定型	3.09	5.90	5.78	3.79	5.19	5.91	16.13	28.52	83.81
2資産型	積極型	6.14	20.78	20.35	12.34	14.99	16.64	61.29	127.03	363.97
	成長型	5.35	15.17	14.38	8.83	10.70	12.75	42.45	81.52	223.82
	安定型	4.56	9.71	8.57	5.26	7.15	8.95	25.89	45.08	121.75

* 投資にかかるコストは控除していない。積み立ては、税引き前分配金再投資。ポートフォリオは毎月リバランスをしたものとする。

積み立ては計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2024年10月末に1万円投資資金を積み立て始め、

→累積月数をコピペする年9月末の投資資金までとする(2025年10月末積み立て分は運用期間がないため含めていない)。

出所:モーニングスター・ジャパンがMorningstar Directにより作成。Morningstar Directについてのお問い合わせは、お問い合わせメール(<https://www.ibbotson.co.jp/contact-us/>)まで。

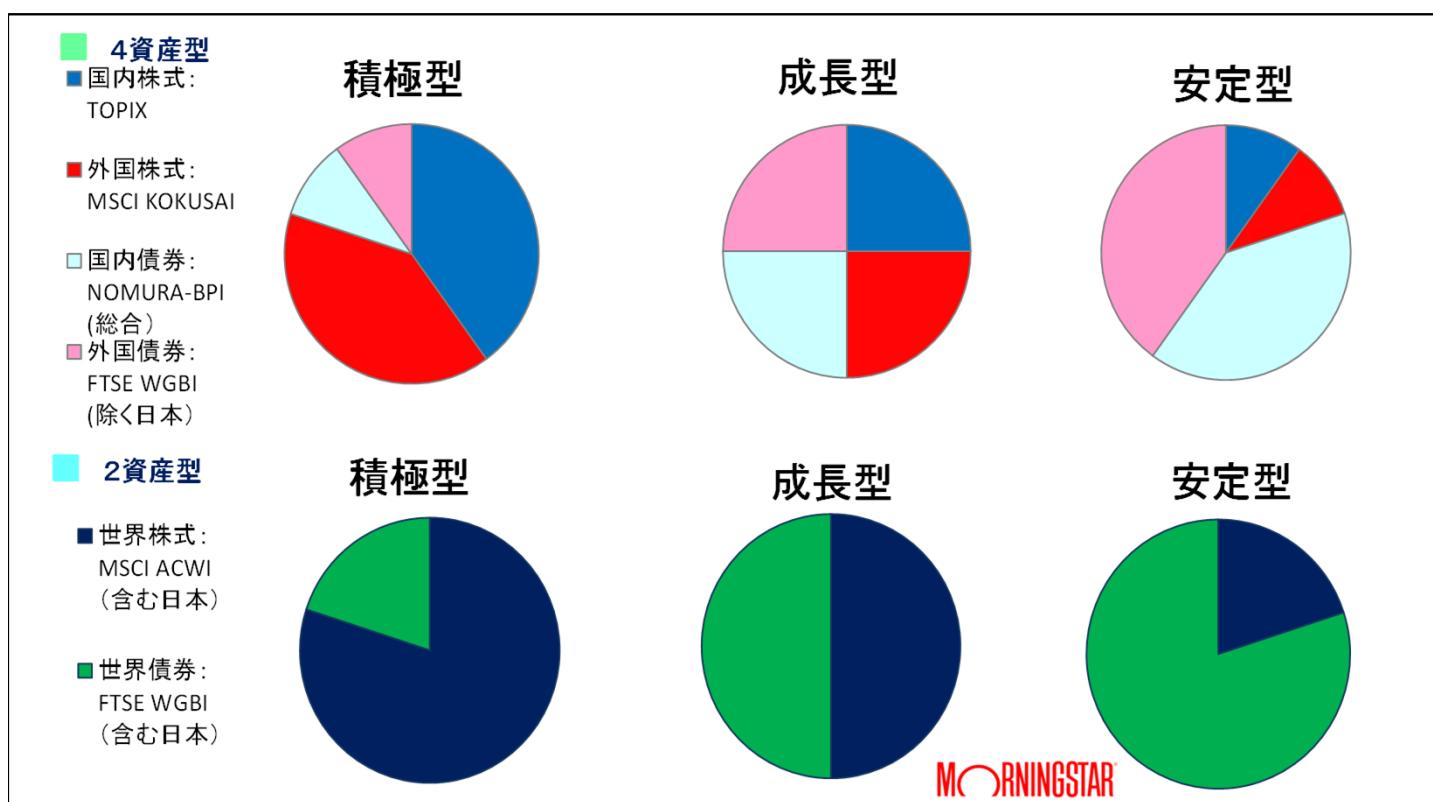
ポートフォリオの資産配分比率(外貨建て資産は円換算ベース)

	国内株式: TOPIX	外国株式: MSCI KOKUSAI	国内債券: NOMURA- BPI (総合)	外国債券: FTSE WGBI (除く日本)
	4資産型	2資産型	4資産型	2資産型
4資産型	積極型	40%	40%	10%
	成長型	25%	25%	25%
	安定型	10%	10%	40%
2資産型	世界株式: MSCI ACWI (含む日本)	世界債券: FTSE WGBI (含む日本)		
	積極型	80%	20%	
	成長型	50%	50%	
	安定型	20%	80%	

ポートフォリオは「インベストライフ」が参考のために考案した資産配分に基づき、モーニングスター・ジャパンがデータを算出しています。

特定の資産配分による投資の推奨を行うものではありません。

「長期投資仲間」通信『インベストライフ』の他の記事は[こちらからご覧ください。](http://www.investlife.jp/)
<http://www.investlife.jp/>



＜国内で購入可能な代表的ETF:2025年10月末の運用状況＞

当資料は「インベストライフ」のために、モーニングスター・ジャパンがデータを算出、作成しています。特定の投資信託による投資の推奨を行うものではありません。ファンド名をクリックするとそのファンドの詳細を見ることができます。

「長期投資仲間」連携「インベストライフ」はこちらからご覧ください。FIWA通信 インベストライフ | 「みんなのお金のアドバイザー協会～FIWA～」

* 投信ブログ [\[梅屋敷商店街のラシダムウォーカー\(インデックス投資実践記\)\]](#) の管理人、水瀬ケンイチさんのご協力で銘柄を選定しました。
なお、国内株式、債券、コモディティについては
インベストライフが選定しました。

Ticker	ファンド名	トータルリターン (米ドル換算)					トータルリターン (円換算)					リスク (米・円換算)	リスク (米・円換算)	1万円ずつ積み立てた場合の 投資額に対する騰落率				1万円ずつ積み立てた場合の 月末資産額				純資産 2025年10月末		純資産 率または 信託報酬 (%)	Morningstar カテゴリー	選動を目指す 投資対象指数	
		1ヶ月	1年	5年 (年率)	7年 (年率)	10年 (年率)	1ヶ月	1年	5年 (年率)	7年 (年率)	10年 (年率)			1年 12万円	5年 60万円	7年 84万円	10年 120万円	1年 12万円	5年 60万円	7年 84万円	10年 120万円	百万ドル	億円				
1308	上場インデックスファンドTOPIX (アモーヴァAM)	1.80	25.19	9.97	8.29	7.68	6.19	26.61	18.83	13.21	10.34	15.30	14.45	20.54	62.30	85.51	108.40	14.46	97.38	155.83	250.08	88,276	135,993	0.075	国内株式・ 大型ブレンド型	TOPIX(配当込み)	
1348	MAXIS トピックス上場投信 (三菱UFJ)	1.80	25.17	9.97	8.28	7.67	6.19	26.60	18.83	13.21	10.34	15.30	14.45	20.53	62.27	85.49	108.36	14.46	97.36	155.81	250.04	27,422	42,245	0.066	国内株式・ 大型ブレンド型	TOPIX(配当込み)	
1554	上場インデックスファンド世界株式 (MSCI ACWI)除く日本(日興AM)	1.75	19.38	14.51	13.23	11.21	6.14	20.74	23.74	18.38	13.96	18.13	16.24	18.47	72.76	111.29	155.68	14.22	103.66	177.48	306.81		92	142	0.264	外国株式・ 世界型(除く日本)	MSCI ACWI ex Japan指数(円換算)
VT	Vanguard・トータル・ワールド・ストックETF	1.89	22.32	14.51	12.81	11.38	6.29	23.71	23.74	17.94	14.13	18.37	16.53	18.72	71.56	109.57	154.30	14.25	102.94	176.04	305.16	57,103	87,971	0.06	外国株式・世界型	FTSE グローバル・ オールキャップ指數	
I00	iShares® グローバル 100 ETF	4.99	30.82	20.08	17.43	15.00	9.52	32.31	29.76	22.77	17.84	19.83	16.63	25.90	100.61	156.58	229.51	15.11	120.37	215.53	395.41	7,834	12,069	0.4	外国株式・世界型	S&P グローバル 100 指数	
TOK	iShares® MSCI コクサイ ETF	1.85	21.91	16.31	14.17	12.41	6.24	23.29	25.69	19.36	15.19	19.27	17.07	17.94	77.60	120.78	173.53	14.15	106.56	185.46	328.23	228	351	0.25	外国株式・世界型	MSCI KOKUSAI(コクサイ)指数	
EFA	iShares® MSCI EAFE ETF	0.92	23.16	12.34	9.19	7.47	5.28	24.56	21.40	14.15	10.12	17.03	16.47	17.72	60.38	86.61	110.89	14.13	96.23	156.75	253.06	68,092	104,899	0.32	外国株式・ 大型ブレンド型	MSCI EAFE 指数	
VSS	Vanguard・FTSE・オールワールド (除く米国)スマールキャップETF	-0.27	22.84	9.93	8.09	7.10	4.04	24.23	18.79	13.01	9.75	18.08	17.92	19.94	52.08	76.44	96.03	14.39	91.25	148.21	235.23	9,655	14,874	0.08	外国株式・ 中・小型ブレンド型	FTSEグローバル・ スマールキャップ(除く米国)指数	
VTI	Vanguard・トータル・ストック・マーケットETF	2.18	20.81	16.66	15.25	14.04	6.59	22.18	26.07	20.49	16.86	20.68	17.97	17.83	79.28	127.36	192.15	14.14	107.57	190.98	350.58	563,710	868,424	0.03	米国株式・ 大型ブレンド型	CRSP USトータル・マーケット指数	
VB	Vanguard・スマールキャップETF	0.30	9.77	11.84	9.88	9.99	4.62	11.01	20.85	14.88	12.71	23.80	21.79	11.11	48.29	81.45	119.11	13.33	88.97	152.42	262.93	68,330	105,266	0.05	米国株式・ 小型ブレンド型	CRSP USスマールキャップ指数	
EEM	iShares® MSCI エマージング・ マーケット ETF	3.77	28.06	6.72	7.46	7.00	8.25	29.51	15.32	12.35	9.65	17.93	18.01	26.52	54.81	72.71	91.82	15.18	92.88	145.08	230.18	20,997	32,347	0.72	外国株式・ 新興国型(複数国)	MSCI エマージング・マーケット指数	
VWO	Vanguard・FTSE・ エマージング・マーケットETF	1.41	21.95	7.61	8.51	7.54	5.78	23.34	16.28	13.45	10.20	17.24	17.12	21.43	53.89	75.12	97.22	14.57	92.33	147.10	236.67	104,390	160,818	0.07	外国株式・ 新興国型(複数国)	FTSEエマージング指数	
IGOV	iShares® 世界国債(除く米国)ETF	-0.98	5.64	-4.25	-1.44	-0.51	3.29	6.84	3.47	3.04	1.95	6.25	9.17	7.16	13.72	15.76	18.22	12.88	68.23	97.24	141.86	1,050	1,617	0.35	外国債券・世界型	S&Pシティグループ・ インターナショナル・ トレジャリー・ボンド指数(除く米国)	
AGG	iShares®・コア 米国総合債券市場 ETF	0.62	6.17	-0.24	2.25	1.87	4.96	7.38	7.80	6.90	4.39	7.67	5.14	7.37	23.27	30.93	40.09	12.88	73.96	109.98	168.11	135,245	208,351	0.03	米国債券・ 中長期型	バークレイズ米国総合指数	
TIP	iShares®・米国物価連動国債 ETF	0.31	5.85	1.40	3.50	2.84	4.64	7.05	9.58	8.20	5.39	8.41	5.12	6.88	23.91	35.81	47.79	12.83	74.35	114.08	177.35	14,136	21,777	0.18	米国債券・ インフレヘッジ型	バークレイズ 米国TIPS指数(シリーズL)	
RWX	SPDR ダウ ジョーンズ インターナショナル リアル エステート ETF	-0.89	13.62	3.46	0.88	0.73	3.38	14.91	11.80	5.47	3.22	16.09	17.53	13.76	24.55	30.77	35.45	13.65	74.73	109.84	162.54	290	446	0.59	海外不動産(除く米国) セクター型	ダウ・ジョーンズ・グローバル (除く米国)セクター・リアル・ エステート・セキュリティーズ指数	
IYR	iShares®・米国不動産 ETF	-2.47	-1.36	6.78	5.60	5.52	1.73	-0.24	15.40	10.40	8.13	18.98	18.62	2.87	27.60	44.53	65.64	12.34	76.56	121.41	198.77	3,597	5,542	0.38	米国不動産 セクター型	ダウ・ジョーンズ米国不動産指数	
GSG	iShares® S&P GSCI コモディティ・ インデックス・トラスト	1.32	10.16	17.46	4.54	3.13	5.69	11.41	26.93	9.29	5.67	26.27	21.84	9.21	44.73	74.62	85.16	13.11	86.84	146.68	222.19	1,081	1,666	0.75	コモディティ・総合	S&P GSCI商品指数	
GLD	SPDR®ゴールド・シェア	4.83	46.15	15.88	18.14	12.93	9.35	47.81	25.23	23.51	15.73	14.37	16.06	34.88	126.94	168.69	217.68	16.19	136.17	225.70	381.21	133,984	206,409	0.4	コモディティ・ 貴金属	金地金価格 (ロンドン午後決め値)	

*積み立ては税引き前分配金再投資、計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2024年10月末に1万円で積み立てを開始し、2025年9月末投資分までの2025年10月末における運用成果とする(2025年10月の積み立て額は入れない)。

出所:MorningstarDirect のデータを用いてモーニングスター・ジャパンが作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせはモーニングスター・ジャパンのお問い合わせメール(<https://www.ibbotson.co.jp/contact-us/>)にてお気軽にご送信ください。

MORNINGSTAR